

(様式 1-3)

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	共同利用施設復興整備事業	事業番号	C-7-1
交付団体	普代村	事業実施主体 (直接/間接)	普代村 (直接)		
総交付対象事業費	1,158,715 (千円)	全体事業費	1,158,715 (千円)		
事業概要					
<p>本格的な水産業の復興に向け、水産業共同利用施設等の整備を進める。 村の公募により支援対象を選定し整備を行う。(公募予定施設数 6 施設) なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 13 に以下のとおり記載されているところ。 【復興に向けての施策】 ③各種支援策の推進による水産加工業者の再建 ≫水産加工業、流通・販売業等の経営再建支援</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度> 水産物加工処理施設の整備 水産加工処理施設整備 設計監理費 6,000 千円 工事費 110,215 千円 水産加工処理施設整備事業補助金 900,000 千円 指導監督経費 10,000 千円 <平成 25 年度> 水産加工処理施設整備事業補助金 132,500 千円</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災により壊滅的な被害を受けた漁業者、法人に対して、本格的な水産業復興に向け整備する水産業共同利用施設に対して支援を行う。 【参考】 震災前の水産加工業者の施設数は 4 施設ありましたが、震災により全施設全壊、流失。内 1 施設は他の事業により現在復旧中。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	11	事業名	津波に対応した避難道路整備	事業番号	D-1-1
交付団体	普代村	事業実施主体 (直接/間接)	普代村(直接)		
総交付対象事業費	130,580 (千円)	全体事業費	130,580 (千円)		
事業概要					
<p>津波により壊滅的な被害を受けた太田名部地区の孤立解消としての接続道路の整備を実施する。 なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 26 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての施策】</p> <p>④難所・避難路等の検証と避難所運営の充実 ➤避難所・避難路の再検討。備蓄品目の検証・充実</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度> 太田名部地区の接続道路の整備 上の沢線道路改良 (舗装工を除く) L=535m</p> <p><平成 25 年度> 太田名部地区の接続道路の整備 上の沢線道路改良 (舗装工) L=535m</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災の際に太田名部地区の住居は防潮水門により守られたが、水門より海側に位置する主要道である県道岩泉平井賀普代線が通行止めとなり、太田部地区は孤立状態となり避難所、不明者の確認を取るのに 2 時間以上時間を要する状況であった。地区から北側に伸びる市道があるが、市街地に近い部分は津波浸水区域内となり、津波注意報、警報が発令された場合には通行止めとなる。</p> <p>このため太田名部地区の孤立解消のため、地区から内陸部に向かう道路で、これまで拡幅用地の交渉が難航したことにより整備が出来なかった村道上の沢線の未改良区間(L=535m)について事業実施し、集落間の接続道路を確保する必要がある。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	